

『カイコの実験単』正誤表

この度は『カイコの実験単』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
本書の内容に以下の訂正箇所がございましたので、訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

箇所		誤	正
p.69	左側上から5行目	固定液(ホルマリン), 硬骨染色薬(アリザリンレッドS) , 軟骨染色薬(アルシアンブルー)	固定液(ホルマリン), 軟骨染色薬(アルシアンブルー)
p.69	右側上から4行目	長期に保存するなら, 防腐剤(チモール)。	長期に保存するなら, 防腐剤(チモール)。 哺乳類や海産節足動物とカイコとの比較実験をするなら, 硬骨染色薬(アリザリンレッドS)。
p.72	右側上から2行目	0.5% 水酸化カリウム水溶液に,	通常の透明標本では, 0.5% 水酸化カリウム水溶液に,
p.72	右側上から6行目	体が染まりすぎないうちに止める。その後, 余分な染色剤を落とすために, アリザリンレッドS を入れていない水酸化カリウム溶液に数時間漬ける。	エビ・カニなどの海産節足動物の外骨格にはカルシウムが沈着しているため赤く染まるが, 昆虫は外骨格へのカルシウムの沈着がないため赤く染まらないので, カイコと海産節足動物との比較実験をするのであれば, この段階は省略してもよい。
p.73	図7 完成したカイコの幼虫の透明標本		 透過光による撮影。
p.128	執筆者 天竺桂 弘子	P.57 参照	P.55 参照